

利尻山（標高 1721m）

日本百名山、北海道百名山、花の百名山

登山者 12 名（男性 4 名、女性 8 名） タイムおよそ 11 時間 距離 12.8 km 登り 1568m

鳥本リーダー、石上サブリーダー

7/20(土) 朝 5:30 に、ホテル利尻のバスで鴛泊コース登山口(利尻北麓野営登山口)まで、送っていただき
5:58 (曇天) スタート。

予報では天気良くなるということなので、祈るように歩き出す。

登山口トイレ前に、携帯用トイレの使用済み袋回収箱あり。トイレブースは頂上まで3か所。

歩き出し、靴裏に付着した植物の種子を落とす用の水ためあり。

よく整備された登山道を歩き出す。しばらくして乙女橋を渡り、湧き水、最北の百銘水の

「甘露泉水」3合目(標高 270m)でのどを潤す。登山道両サイドに咲くヨツバヒヨドリの花に癒される。

6:50 4合目(標高 390m)「野鳥の森」倒木ベンチで休む。大きな茶色の実をつけたマイヅルソウ、咲き終わったツバメオモト、シロバナイチヤクソウが目立つ。

5合目(標高 610m)「雷鳥の道標」エゾマツ、トドマツの樹林帯の中ずっと緩やかな登山道が続く。紫のミソガワソウがずっと、登山道横に咲いており癒される。

7:47 6合目(標高 760m)(第一見晴台)吹き曝しで岬がちらっと見えるが、やはりまだ曇天で礼文は見えず。リンドウが咲いている。ペースがちょっと遅く、ここで、2グループに分かれ、精鋭グループ(8名)は石上サブリーダーが先頭、ゆったりグループ(4名)は鳥本リーダーが引率する。携帯トイレブースあり。

8:56 7合目(標高 895m)胸突き八丁。黄色のオトギリソウ、紫のイワギキョウが素晴らしい。ジグザグルートが続く。さわやかな鳥の鳴き声がしており、ハシブトガラ(本州でよく見るカラ類の仲間)

9:15 8合目(1218.3m)長官山の頂上。ここに10時までには到着しなければ、ゆったりグループは頂上あきらめ、途中で引き返すという鳥本リーダーのお言葉だったので、なんとか間に合い、頂上まで行けるとホッとする。途中頂上のほう、雲が晴れ、周りの山がちらっと見えるが、長く続かず、すぐ隠れる。

10:28 9合目(標高 1410m)ザレ場に咲くリシリヒナゲシに感動する。ムラサキフウロ、シオガマなど樹林帯抜け、お花がすごい。トイレブースあり。ベンチで休む。崩れている個所に、土嚢が積んであり、(試験的補修)そこまで50mサニブラウンなら5秒。「ここからが正念場」と看板あり。

9合目からが大変だとリーダーに言われ続け、ここからだ気を引き締める。

避難小屋、トイレブースあり。このあたりで少しアップダウン。そこを過ぎると、強風。右が崩れ落ちており、頂上までこの風かと不安になる。お花畑が広がり、晴れ間が現れ、雪渓が残った山肌の緑が素晴らしい。

11:27 頂上近くなると、風はやみ、360度青空となり、大きな三角点、祠あり。ろうそく岩が素晴らしい。先発グループと登頂を祝う。このあと先発隊を見送り、青空の下、絶景を楽しみ昼食をとった後、下山始めると、にわかになんか悪くなり、避難小屋のあたりまで来ると、霧雨。

17:00 登山口に到着、今日、晴天は私たちが頂上にいたわずかな時間だけで、利尻の奇跡。

起床時から、登山口移動時、そして登山開始、登頂と天気がどんどん変わり、島の天気予報の難しさを実感した登山だった。利尻の奇跡に感謝。また北海道の大きな植物の理由が、日照時間の長さによる。こびとになったような気にさせられた登山だった。

(記録はゆったりグループの班員のものです。)